

1. 第1回専門部会議事要旨

(1)第1回施設整備基本計画検討専門部会(平成23年9月29日開催)議事要旨

1. 部会長の選任

部会長 : 細見委員

副部会長 : 藤倉委員

2. 整備基本計画専門部会の目的と作業計画

意見

- ・ごみメタン化施設の検討が後回し(2012年3月以降)になっているが、全く新しい施設なのでエネルギー回収推進施設と同時並行が望ましい。
- ・昨日の候補地選定専門部会を傍聴したが、どの位の規模(面積)が必要なのかが決まらなると候補地選定専門部会が進まない。一極集中で行うのか。分散なのか。早めに方針を定めるべき。

確認事項

- ・焼却炉とメタン化施設は、一体に整備するのが合理的である。

3. 計画施設規模について

□分別協力量について

意見

- ・調布市と小金井市のプラスチック収集の分別協力量が高く、多摩市が低いのはなぜか。それぞれの収集方法を調べる必要がある。
- ・「協力量」という専門用語が突然出てきたら戸惑ってしまう。説明の時にわかりやすくする工夫が必要。
- ・実際問題、分別協力量30%以下の可能性が高いと思うので30%以下での検討が必要。
- ・設計の段階では余裕をみて分別協力量30%で施設を作るのが妥当。

確認事項

- ・設計段階では余裕度や変動幅が必要だが、分別協力量50%位をベースとして検討する。

4. 計画ごみ質について

意見

- ・多摩市のエコプラザ多摩では5t/日のプラスチックを処理している。他市の協力量を参考にすると町田市は10t/日×2系列が妥当ではないか。

確認事項

- ・資源化基本計画を基本として実施していくべき。

5. 第4回委員会におけるご質問事項への回答に対する意見

□質問1への回答について

- ・メタン化施設では、設備の電気使用量が多いと聞いたことがある。電気を買うようなことにはならないか。
- ・②の北海道中空知衛生施設組合と⑥の京都府カンボリサイクルプラザを1年間通じてどうなのか再調査する必要がある。
- ・実際に稼動しているところの問題点を知りたい。

□質問2への回答について

- ・焼却炉のみ、焼却炉+メタン化施設の場合の維持管理に必要な値段と実績費はどのくらいか。
- ・どのような基準で選択すればよいのか。(コスト面、環境面、搬出量、優先順位)パターンなど例をあげてほしい。

□質問3への回答について

- ・近年の焼却炉はガス化溶融炉が多い中、あえてストーカ式にした自治体があるのはなぜか。

6. その他の意見

- ・メタン化施設を建設するならば、残渣を焼却するので焼却炉と同じ場所に建設するしかない。
- ・資源化施設は、分散してリサイクル広場も併設してほしい。
- ・町田市が生ごみ収集をなぜ断念したのか。
→視察した場所では、バケツで生ごみ収集を実施していた。人口の少ない田舎だから実施できた。町田市のような場所では臭気などの面で困難だと判断した。名古屋市でも検討していたが断念した経緯がある。
- ・生ごみ処理機が普及していない段階で生ごみ処理機の生成物収集を始めるのは難しい。

以上

(2)第1回建設候補地選定専門部会(平成23年9月28日開催)議事要旨

1. 部会長の選任

部会長：松波委員
副部会長：粕谷委員

2. 建設候補地選定専門部会の目的と作業計画

- ・適地選定の手順そのもの、一次選定などの選定条件そのものを意見募集の対象として公表するべきではないか(11月～12月)。
- ・第二次選定後に決まったことを広報するのではなく、選定の手順・考え方の段階から、アンケート・パブリックコメント、意見交換会等、意見を求める機会を用意した方が良い。
- ・スケジュールに別枠で「住民への周知・説明等」に関する項目も加え、平行して検討していくべきではないか。

3. 建設候補地選定の手順

- ・手順についての方向性、進め方は承認。次回は条件にあった用地、もしくは候補地を図面に落とす。
- ・市有地はどれくらい存在し、本検討にあたり情報はどの程度出せるのか？
- ・参考事例にある候補地への推薦(自薦)・公募はどういった経緯や内容で行われていたのか調べ、報告して欲しい。
- ・地元還元施設は地元にとって本当に必要なのか、検討することが望まれる。

4. 施設建設に必要な敷地面積とその組み合わせ

- ・本資料に提示された概算の規模について、あくまでも目安としての数値が一人歩きすることが懸念される。想定の数値であることの十分な説明を加えた方がよい。
- ・組み合わせによっては選定の条件も異なるのではないか。
- ・組み合わせ・施設形状については、施設整備基本計画専門部会での検討内容と連動していく。
- ・新たな施設建設にあたっては、大規模地震など、これまで「想定外」とされていたような事象をも考慮した安全策が必要ではないか。

5. 第4回委員会におけるご質問事項への回答

- ・メタン発酵施設の資料について、詳細な情報が必要。

以上

(3)ご質問に対する回答等

ご質問①：

- ・メタン化施設では、設備の電気使用量が多いと聞いたことがある。電気を買うようなことにはならないか。
- ・②の北海道中空知衛生施設組合と⑥の京都府カンポリサイクルプラザを1年間通じてどうなのか再調査する必要がある。
- ・実際に稼動しているところの問題点を知りたい。



回答①：

- ・現在、調査中です。

ご質問②：

- ・焼却炉のみ、焼却炉+メタン化施設の場合の維持管理に必要な値段と実績費はどのくらいか。
- ・どのような基準で選択すればよいのか。



回答②：

- ・維持管理費については、今回議題にありますアンケート調査により算出してもらい、今後、当部会の資料として整理・検討していきます。

ご質問③：

- ・近年の焼却炉はガス化熔融炉が多い中、あえてストーカ式にした自治体があるのはなぜか。



回答③：

- ・近年の焼却炉の実績は、ストーカが6割の実績があります。各自治体により採用要件が違っていますが、ガス化熔融を採用の自治体は、最終処分場が逼迫又ははない場合が多いようです。また、ストーカを採用する自治体は、処分場を有している又はエコセメント施設が近隣にあるところが多いようです。
- ・ストーカ式は、長期安定稼動の実績を有しており、近年、炉の技術向上により排ガス量低減や高効率発電に対応できるものもあり採用の一因となっています。

2. 作業計画(スケジュール)

年月	建設候補地選定専門部会 検討テーマ	広報等	整備基本計画専門部会 検討テーマ
2011年	9月	28日：第1回専門部会 (1)当専門部会の目的と作業計画について (2)建設候補地選定の検討手順の検討	29日：第1回専門部会 (1)専門部会の目的と作業計画 (2)部会検討手順 (3)計画施設規模 (4)計画ごみ質
	10月	24日：第2回専門部会 (1)選定の手順と作業計画(広報と意見聴取について) (2)一次選定(案) (3)関連して取り扱う事項に関する説明	31日：第2回専門部会 (1)処理方式について (2)メーカーアンケート項目と内容検討
	11月	25日：第3回専門部会 ○参考事例施設見学会	
	12月	(14日：専門部会予備日)	8日：第3回専門部会 (1)メーカーアンケート結果整理・比較検討 (2)処理方式決定
2012年	1月	第4回専門部会 (1)意見募集の結果について (2)一次選定 (3)二次選定(案) (4)候補地選定後、実際の施設の建設までに実施する「生活環境影響調査」について、情報を共有する。	第4回専門部会 ・エネルギー回収施設 計画概要策定
	2月		
	3月	第5回専門部会 (1)二次選定 (2)候補地選定に並行し、「周辺環境・景観への配慮」について、施設建設時に必要な対策等をまちづくりの観点から考え、情報を共有する。 (3)三次選定評価(案)	第5回専門部会 ・ごみメタン化施設 計画概要策定
	4月	第6回専門部会 ・建設候補地の選定	
	5月		第6回専門部会 ・資源化施設 処理フロー・処理方式決定
	6月	第7回専門部会 ・周辺施設の整備の方向性について、詳細を詰める事項を確認、整理	
	7月		第7回専門部会 ・施設運営計画の検討
	8月		第8回専門部会 ・施設基本計画素案検討
	9月		
	10月		第9回専門部会 ・パブリックコメント内容検討
	11月		第10回専門部会 ・施設基本計画決定

第1回部会の御意見を踏まえてメーカーへのアンケートを一括に実施して作業工程を見直しました。

